

大島政允 略歴

能楽シテ方喜多流職分

国総合指定重要無形文化財

昭和 17	1942	6月2日、大島厚民の長男として広島に生まれる。
昭和 23	1948	「鞍馬天狗」で花見をつとめる。
昭和 29	1954	大島久見の「望月」で子方をつとめる。
昭和 29	1954	大島久見の養子となる。
昭和 33	1958	15世宗家喜多実先生に入門。
昭和 35	1960	「経政」で初シテを務める。
昭和 41	1966	「猩々乱」を披く。
昭和 44	1969	「翁」を披く。
昭和 46	1971	福山市喜多流能楽堂の舞台披きで「道成寺」を披き独立。
昭和 47	1972	「石橋」赤小獅子を披く。
昭和 50	1975	「安宅」を披く。
昭和 54	1979	「隅田川」を演じる。
昭和 61	1986	重要無形文化財総合指定の認定を受ける(日本能楽会会員)。
昭和 61	1986	「望月」を披く。
平成 1	1989	「石橋」一人獅子を披く。
平成 3	1991	「石橋」白親獅子を披く。
平成 7	1995	「綾鼓」を演じる。
平成 7	1995	「砧」を演じる。
平成 12	2000	台北芸術学院の客員教授として学生に能の指導をし、台湾で初めての薪能を成功させる。
平成 14	2002	新作能「鞆のむろの木」(帆足正規 作 大島政允 節付)を初演。
平成 15	2003	福山市喜多流能楽堂を改築し、喜多流大島能楽堂と名称を替える。
平成 15	2003	日越外交関係樹立 30 周年記念/文化庁海外芸術交流支援事業 喜多流能 訪越公演の団長を務める。 阮朝王宮の大和殿前(フエ)での薪能、人民劇場(ハノイ)での能公演。
平成 16	2004	「定家」を演じる。
平成 17	2005	年 4 回開催している定期公演が 200 回を迎え、記念能に「絵馬女体」を演じる。
平成 18	2006	「景清」を演じる。
平成 20	2008	「卒都婆小町」を披く。
平成 21	2009	日フィンランド修好 90 周年記念/国際交流基金主体事業 北欧能公演(フィンランド・スウェーデン)の団長を務める。
平成 21	2009	文化庁国際芸術交流支援事業 英語能「パゴダ」のイギリス・フランス公演に参加し、成功に導く。
平成 23	2011	英語能「パゴダ」を日本国内、北京、香港で再演予定。